

SAPIX	6年							
	算数							
学習内容	36回 入試総合演習（2） 37回 入試総合演習（3） 38回 入試総合演習（4）							
家庭学習ポイント	すべての授業において、入試本番に向けて入試総合演習がメインとなります。志望校も固まってきている頃ですから、何にどれくらい時間を使うべきなのかを判断するのが一番難しいところです。志望校の傾向・難易度と、お子さんの得意分野や苦手分野、苦手の中でも伸ばすことができる分野の正確な判断が必要となりますね。受験プランに変更がない場合は「ひたすらに」、変更がある場合は「焦らず早急に」、新たな志望校対策を講じましょう。受験直前まで授業は組まれています、受講カットを検討すべき場合もあります。合格に向けて必要な家庭学習・過去問演習・弱点補強については、優先度は高めにして時間を確保しましょう。また、過去問演習においては、学校ごとに具体的な「取り組み方」も確認していきましょう。問題の優先順位や時間配分、書き方解き方の注意点などをノートにまとめておき、入試本番でも確認できるようにしておくとい良いでしょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	受験プランに「サブプラン」を用意していますか？						チェック
	解決策	可否の経過によってプランを選択するという手もあります						□
	チェック2	「演習⇒解説」からの気づきが得点力アップにつながっていますか？						チェック
	解決策	通常授業の問題で気づいた課題から「次の得点」につなげる学びを続けていきましょう						□
	チェック3	過去問演習を最優先に、学習を進めていますか？						チェック
	解決策	ある学校の過去問の「△」の問題を解決することで、他の学校の対策にもなります						□
	チェック4	併願校も含め、過去門演習は順調に進んでいますか？						チェック
	解決策	時間がないようなら塾の授業を休んで家庭学習、という方法も検討しましょう						□
	チェック5	入試当日の「イメージトレーニング」ができていますか？						チェック
	解決策	是非一度、親子で取り組んでみてください						□
SAPIX	6年							
	国語							
学習内容	36回 入試実戦演習 論説文 37回 入試実戦演習 論説文 38回 入試実戦演習 物語文							
家庭学習ポイント	入試直前ということで、大量の問題演習が繰り返されます。冬期講習の直後が重要です。講習会と正特では多くの問題を解くことになりますが、そこで解く問題はあくまでSAPIXの問題であり、お子さんが受験するそれぞれの学校の問題ではありません。講習会が終わるとすぐに1月入試が始まるため、講習会が終わり次第、受験校に向けた再調整を行っていく必要があります。受験する学校それぞれの国語の問題の傾向、合格するために国語でとるべき点数、時間配分、文種ごとの読み方（線の引き方）、設問ごとの解き方を、必ず言葉にしていきます。国語は多くの場合、最初の試験時間の科目です。落ち着いて取り組めるよう、当日の朝に確認するための自分だけのノートを作っておきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	具体的な受験プランが固まってきましたか？						チェック
	解決策	新たに受験が決まった学校があれば、過去問研究に取り掛かりましょう						□
	チェック2	過去問演習を最優先に学習できていますか？						チェック
	解決策	塾の平常授業での演習はあくまでも「最大公約数」的なものと考えましょう						□
	チェック3	過去問の直しから多くの学びを得ることができていますか？						チェック
	解決策	A校のなおしで得た学びが今年のN校の入試に役立った、という話はよくあります						□
	チェック4	お子さんの志望校に的を絞った学習ができていますか？						チェック
	解決策	もうすでに新たに習うことはなくなっています。塾の平常授業などの欠席も視野に入れましょう						□
	チェック5	学校ごとの問題傾向、取り組みの注意などについて整理ができていますか？						チェック
	解決策	漠然にではなく、言葉にして整理しておくことが大切です						□

SAPIX	6年							
	理科							
学習内容	36回 総合演習① 34回 総合演習② 35回 総合演習③							
家庭学習ポイント	入試直前、平常授業は総合問題の演習のみとなります。これまでの総復習でしっかり入試に備えましょう。テスト・過去問等の振り返りやコアプラスを利用した知識の整理が不十分なお子さんは、知識をまとめて確認する機会が多くなるため、混乱しないよう注意してください。知識の抜けや解けない問題が多くなると、入試直前というタイミングから不安になりがちですが、そんなときこそ落ち着いて、少し時間を欠けて覚え直しをしてください。過去問から志望校がこれまで出題してきた知識問題・計算問題・実験考察問題のレベルを確認の上、残り2ヶ月間、お子さんに本当に必要な演習問題（単元・傾向・量）を決め、市販の教材や志望校以外の過去問も使って演習を進める、といった具体的なプランを立てて学習を進めることが大切です。							
課題の把握と解決策	チェック1	知識の不足を感じていませんか？						チェック
	解決策	問題演習などで知識の不足を感じる場合は「コアプラス」「魔法ワザ」などで補強しましょう						□
	チェック2	志望校によく出題されるタイプの問題、分野などがつかめてきましたか？						チェック
	解決策	それらをサピックスの過去の教材、市販教材などで演習することも大切です						□
	チェック3	「過去問演習→周辺知識を別テキストで学習」というサイクルが守れていますか？						チェック
	解決策	「解きっぱなし」にだけはならないよう注意してください						□
	チェック4	1問解き終わるごとに「ここで得た知識が志望校の問題にどう役立つか」考えていますか？						チェック
	解決策	「○○中だったらどんな出題をするだろうか」と考えてみるようにしましょう						□
	チェック5	具体的な受験プランはでき上がっていますか？						チェック
	解決策	受験校の可否によってプランを変えられるよう準備するなど大切です						□
SAPIX	6年							
	社会							
学習内容	36回 公民用語のまとめ（3） 国際社会 37回 入試直前演習 最頻出用語のまとめ 38回 現代社会と日本の伝統行事・文化のまとめ							
家庭学習ポイント	1月は12月から引き続いて総まとめです。36回「公民用語のまとめ（3） 国際社会」が終わると37回「入試直前演習最頻出用語のまとめ」38回「現代社会と日本の伝統行事・文化のまとめ」を学習し入試に臨みます。非常に多くの問題を解くこととなりますが、「その問題を解くためには、どれだけの背景知識が必要なのか」という視点を忘れ、単純に解いて答えを確認して終わりとしなないようにしましょう。塾のテキスト、テスト、過去問演習など、今後取り組むすべての問題はお子さんの弱点をあぶりだす機会に過ぎません。解いて終わり、直して終わり、ではなく、その後に「何を覚えたのか」を重視して学習を進める必要があります。覚えれば覚えた分だけ着実に得点率が上がっていくのが社会です。記述問題対策、地図問題対策など、特殊な出題形式への対策も含めて、できる準備はすべてやり切って本番に臨みましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	歴史や地理の知識を、漢字で答えられる状態でつけていますか？						チェック
	解決策	人名や地名など、基本的に漢字で答えられる状態を目指しましょう						□
	チェック2	問題を「解きっぱなし」にせず、演習後に「周辺知識を覚える」時間をとっていますか？						チェック
	解決策	「問題を解く⇒不足していること+αを補充する」の両輪があってこそその演習授業です						□
	チェック3	時事的な問題について、志望校がどの程度詳細に出題するかを把握していますか？						チェック
	解決策	SAPIXの時事問題は、かなり高度です。志望校の傾向に合わせて対策していきましょう						□
	チェック4	志望校の出題傾向にあわせた学習ができていますか？						チェック
	解決策	デイリーや土特、SSなどもすべて「志望校合格」から逆算して活用のしかたを考えましょう						□
	チェック5	過去問演習を最優先に取り組んでいますか？						チェック
	解決策	受験計画の変更があった場合などに、過去問演習が不足する学校がないようにしましょう						□